令和７年度　事業報告書

当協会は、県内の地域防災力の向上を図ることを目的として、県内各市町及び消防本部等関係機関と連携・協力し、防火防災の普及啓発をはじめ、消防技術の向上や消防活動の強化及び消防団員の活性化支援等に資するため、令和７年度は、以下の事務・事業を実施いたしました。

Ⅰ　法人の運営【法人会計】　　経常費用（決算額）：３，６０９，１４３円

１　県消防協会（組織の概要）

（１）　役員（理事・監事）及び評議員等

○　総　　裁：県知事

○　会　　長：川上　清記（雲仙市消防団長）

副 会 長（４名）：山口　照己（長崎市消防団長）
平尾　幸祐（諫早市消防団長）
谷口　哲男（松浦市消防団長）
安川　昭彦（壱岐市消防団長）

常務理事（１名）・理　　事（１７名）

監　　事（３名）

評 議 員（１７名）

顧　　問（３名）

○　事務局：事務局長（非常勤:県職員兼務）、次長（常勤：県ＯＢ）、書記（常勤）

（２）　会員数（令和７年１０月１日現在）

○　消防団数（２１団、うち女性消防団員を有する消防団２１団）

○　消防団員数（定員 19,996 名・実人員 16,766 名、うち女性団員数 354 名）

２　法人の管理・運営事務

（１）県消防協会主催会議の開催

県消防協会の事業運営を円滑かつ適正に行うため、次の会議等を開催

①　理　事　会（４回）	第１回理事会	令和７年　５月１５日（木）
	臨時理事会	令和７年　５月３０日（金）
	理事会（書面会議）	令和７年１０月１０日（木）
	第２回理事会	令和７年１１月２９日（土）
②　評 議 員 会（２回）	定時評議員会	令和７年　５月３０日（金）
	評議員会	令和７年１１月２９日（土）

③ 幹部理事会（３回）　第１回幹部理事会　令和７年　４月２５日（金）
　　第２回幹部理事会　令和７年１１月１２日（水）
　　第３回幹部理事会　令和８年　３月１８日（水）
④ 監事監査会（１回）　令和７年　５月　９日（金）

（２）　日本消防協会等主催会議への出席

※川上会長　：日本消防協会副会長、全日本消防人共済会理事・総代
谷口副会長：日本消防協会評議員、全日本消防人共済会総代
平尾副会長：全日本消防人共済会総代
（任期は、会長、副会長とも８年６月開催の日消定時評議員会まで）

① 消防協会九州ブロック協議会

九州ブロック定例協会長会議　令和７年　７月１７日（木）

② 日本消防協会・全日本消防人共済会

１）正副会長会議　令和７年　６月１９日（木）
２）理事会・評議員会・総代会　令和７年　６月２０日（金）
　　令和８年　３月　６日（金）
３）都道府県消防協会事務局長会議　令和８年　２月２７日（金）
４）福祉共済事業等運営委員会　令和７年　５月２８日（月）
　　令和８年　２月１０日（木）

３　情報の提供・収集

（１）県消防協会

① ホームページによる情報提供
http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/anzen-anshin/bosai-kokuminhogo/kankeidantaikikan/syouboukyoukai/

② 機関誌「まとい」第５３号発行

（２）日本消防協会

① 日本消防協会の機関誌「日本消防」を各市町消防団、消防本部、市町等に配布
※本県消防団の活動状況に関する記事の掲載
・「特別表彰まといを受賞して」：大村市消防団
・「東西南北」コーナー：川棚町消防団
・「うちの名物団員」コーナー：佐世保市消防団

② 季刊誌「いきいき消防」の配布、新入団員用「守れ　わがまち」の斡旋・配布

③ 日本消防協会提供ラジオ「おはよう！ニッポン全国消防団」（ニッポン放送）
佐世保市消防団　団員　鳥本　実穂　さん　出演

Ⅱ　公益目的事業１　　経常費用（決算額）：６，６４３，９９９円

防火防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図り、消防団員の士気の高揚と団結強化を推進するための事業

１　消防団大会

令和７年６月１４日（土）、第７８回長崎県消防団大会を西海市との共催により「西海市大島文化ホール」で開催

受章者、来賓、県内消防団員等、約５００名が参加

大会では、消防団表彰として、叙勲の披露、消防庁長官表彰の伝達、知事表彰、日本消防協会長表彰の伝達とともに、県消防協会長表彰を授与

①　県消防協会表彰

県内市町・消防本部から推薦の消防団及び消防団員（職員）について、県消防協協会定款施行規則に基づき、幹部理事会の表彰審査会において表彰者等を決定

・竿頭綬（無火災）長崎市消防団第 33 分団、島原市消防団第９分団、同第 10 分団、同第 13 分団、平戸市消防団平戸地区第２分団、松浦市消防団第７分団、同第 14 分団、雲仙市消防団国見支団第３分団、同千々石支団第４分団、同小浜支団第４分団、南島原市消防団西有家地区第１分団、同地区第６分団、同加津佐地区第１分団、新上五島町消防団新魚目地区曽根分団、同上五島地区飯ノ瀬戸分団

・感謝状８名

２　消防殉職者慰霊祭事業

①　長崎県消防殉職者慰霊祭

令和７年１１月２９日（土）、県消防殉職者慰霊祭をご遺族、来賓等約１１０名の参列を得て、長崎県庁１階大会議室において、無宗教、献花方式で厳かに実施

※　消防活動中に殉職された本県の消防団員（職員）の功績を称え、その遺徳を偲ぶために開催、明治４２年以降、３０８柱が合祀

②　第４４回全国消防殉職者慰霊祭

令和７年９月１１日（木）、ニッショーホールにて開催

川上会長ほか長崎市のご遺族ら４名、参列。

※　明治以降、殉職された全国の消防団員（職員）・消防協力者の功績を称え、その遺徳を偲ぶために開催（殉職者数：５，７９５柱（新たに３名合祀））

３　防火啓発事業

（１）　県消防協会

①　防火ポスターコンクール作品募集

秋の全国火災予防運動に合わせて、県内小学生（４年生以上）を対象に、防火啓発事業としてポスターコンクールを実施

○ 消防本部・市町村を通じて募集

・応募総数　１７６点（小学校　２６校）

・最優秀賞　雲仙市立大塚小学校６年　松本　悠辰くん

（県教育委員会の協力を得て審査会実施）

最優秀賞（１名）には賞状と１万円相当の図書券、優秀賞（２名）には賞状と５千円相当の図書券、佳作（４名）には賞状と３千円相当の図書券

入賞者を除く応募者全員に、参加賞として蛍光マーカー各１本を贈呈

② 最優秀作品を火災予防広報ポスターとして作成

１，０００枚作成し、各消防団、市町、消防本部に配布、掲示

（２） 全日本消防人共済会

① 全日本消防人共済会が主催する防火ポスターの図案募集への協力

県内小中学生を対象に各消防本部・市町を通じて募集

小学校の部、中学校の部に各１点を全日本消防人共済会に推薦

・応募件数　１１点（小学校４校から８点、中学校２校から３点）

【全日本消防人共済会での審査結果】

本県の入賞者なし

審査対象者２名に千円の図書カード贈呈

② 第２２回全国中学生「防火・防災に関する」作文募集への協力

県内中学生を対象に各消防本部・市町を通じて募集、応募者　２名

Ⅲ　公益目的事業２　　経常費用（決算額）：１０，０１９，０９４円

消防団員の技術向上、体力を練成するための健康増進・資質向上のための研修会等の事業

（１） 県消防協会

① 消防研修事業

○　消防団員指導員課程研修

令和７年１０月８日（水）～９日（木）の２日間、消防団員指導員養成を行う研修を長崎県消防学校の協力を得て実施

対象は、消防団活動の中核になる消防団員でかつ指導能力のある各消防団長からの推薦者、本研修は、「消防団員研修実施要綱」に基づく日本消防協会からの委託事務で、研修交付金（研修参加旅費、講師の旅費・謝金、図書資料等）を受け実施

県内７市消防団　１８名出席

② 健康増進・体力練成事業

令和８年２～３月にかけて、消防団員の健康増進及び公務による事故防止のため、折りたたみ式ＬＥＤライト、ハンディトーチ、コードレスミストファンのうちのいずれかのものを県内２１市町消防団に配布

③ 女性消防団員研修事業

令和８年２月１４日（土）、第２３回長崎県女性消防団員研修会をセントヒル長崎で開催、県内１１市５町から消防団長及び女性消防団員等、約８０名が参加

④ 表彰事業

○ 県消防協会長定例表彰

令和８年１月５日～１１日にかけて県内の出初式に会長、副会長出席

消防に関して功績があった消防団員及び協力者等の表彰は次のとおり

表彰者総数　２，３１３名

特別有功章　２４９名、有功章　６２３名、精続章（金・銀）６７４名

表彰状　９名、感謝状（１号～４号）７５８名

⑤ 全国女性消防団員活性化長崎大会関係

実行委員会開催　第４回（５／１５）、第５回（１０／３）

運営委員会開催　第５回（７／４）、第６回（１０／２４）

長崎大会リハーサル　１１月１２日（水）１３：００～

（２）日本消防協会

① 第２６回全国女性消防操法大会

令和７年１０月２８日（火）、第２６回全国女性消防操法大会が神奈川県横浜市横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催され、県代表として、五島市女性消防隊が出場し、敢闘賞を受賞

② 第３０回全国女性消防団員活性化長崎大会

令和７年１１月１３日（木）、「出島メッセ長崎」（長崎市）で開催

※ 全国の女性消防団員が一堂に集い、日頃の消防団活動や先進的取組みについて情報交換し交流することにより、その活動をさらに活性化させ、地域防災力の向上に資することを目的として実施。

ア 参加者：２，５６９名

イ 活性化大会概要

・防火防災啓発劇（２団体）・事例発表（５団体）、昼食時アトラクション　二胡演奏シッシーチさん、

基調講演「(株) A and Live　代表　髙田　明さん」、パネルディスカッションほかウ　情報交流会は、１，５１２名が参加

アトラクションは、鶴鳴学園長崎女子高龍踊部による龍踊、変面ショー　京介さん

③ 第７８回日本消防協会定例表彰式

令和８年３月６日（金）、ニッショーホールにて開催

本県より川上会長、谷口副会長が出席、長崎県関係表彰は令和８年６月１４日（日）開催予定の第７９回長崎県消防団大会（諫早市）において、伝達予定

１）消防団表彰

・優良消防団　表彰旗　　佐々町消防団

　　竿頭綬　　諫早市消防団、対馬市消防団、長与町消防団

２）消防団員（職員）表彰

・功績章　　１８名（うち女性消防団員１名）

・精績章　　４２名（うち女性消防団員１名）

・勤続章　１６０名

④ 第５２回消防団幹部特別研修　　令和８年１月１３日（火）～１６日（金）

※消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種研修を実施し、消防団の指導者を養成することを目的に実施、本県から松尾長崎消防団副団長参加

⑤ 第２５回消防団幹部候補中央特別研修（男性団員の部）

令和８年１月２８日（水）～１月３０日（金）

※消防団の幹部候補者として活動が期待される消防団員に対し、特別研修を実施し、将来の消防団幹部を養成することを目的として実施。

原則として年齢が４０歳以下、団歴が概ね３年以上、階級が分団長以下、精績・活動実績等が優秀である者。

本県からは、佐世保市消防団から１名が受講。

⑥ 第２５回消防団幹部候補中央特別研修（女性団員の部）

令和８年２月１８日（水）～２０日（金）

※消防団の幹部候補者として活動が期待される消防団員に対し、特別研修を実施し、将来の消防団幹部を養成することを目的として実施。原則として年齢が４９歳以下、団歴が概ね１年以上、階級が分団長以下、精績・活動実績等が優秀である者

Ⅳ　収益事業等（その他１）　　経常費用（決算額）：　５４９，４８０円

日本消防協会が消防団員等を対象として、各種共済事業を実施

当協会は、福祉共済制度事務費と福祉事業助成金を日本消防協会から受けて、加入事務、掛金の徴収、共済金の請求事務等の窓口業務を実施

１　消防団員福祉共済事業

令和７年度加入者数　１５，３７６名（全市町加入）

令和７年度福祉共済給付件数及び給付額

遺族援護金	２５件	２５，０００，０００円
障害見舞金	１件	５００，０００円
生活援護金	１件	１，０００，０００円
入院見舞金	１３３件	５，９６５，５００円
合　計	１６０件	３２，４６５，５００円

２　火災共済事業

令和７年度加入市町　島原市、諫早市、平戸市、松浦市、壱岐市、雲仙市、川棚町、新上五島町の８市町

加入者数　３，７２２名

給付件数及び給付金額　０件

３　婦人消防隊員等福祉共済事業

令和７年度加入者数　１２５名

令和７年度共済金給付（入院見舞金）　１件　１８，６００　円

４　防災車両等の交付

○　消防団活動車（ワンボックス型）を１台、松浦市消防団に交付

５　消防団幹部職章の斡旋　２２セット（長崎市、佐世保市、壱岐市）

Ⅴ　収益事業等（その他２）　　経常費用（決算額）：　５，１４２，９０１円

１　長崎県消防協会福祉厚生事業

消防団員が死傷された場合の弔慰救済、子弟に対する育英事業等を実施

昭和４５年度から６年間で県、市町村、消防団員、民間からの寄付で合計１億円を造成し、その運営果実によって福祉事業を実施、平成２年度から平成２４年度（終了）までに団員１人、年５００円の寄付金の拠出、令和３年度の果実積立により造成し、令和８年３月３１日現在、額面３４９百万円の国債を運用中

※令和７年度　長崎県消防協会福祉厚生事業

弔慰金の給付　３１名　　４，３８０，０００円

育英給付金　　１名　　１８０，０００円

Ⅵ　収益事業等（その他３）

１　消防団員応援優遇事業

消防団員の処遇改善並びに団員の増加に資することを目的として、地域ぐるみで消防団を応援するため、県内の事業所の協力を得て消防団員への優遇措置を講ずる事業

・県内の事業所や店舗等が「消防団員応援の店」として登録

・会員証を提示した消防団員及び家族に対して各種サービスや割引等の優遇措置実施

・消防団員募集ポスターを店舗内に掲示するなど、消防団員への支援に協力依頼

登録店舗（Ｒ８．３．３１現在）　１２７店舗

（うち日本消防協会が行う全国消防団応援の店に７９店舗登録）